

六甲高山植物園 湿生植物区に変わった光景！ 食虫植物「サラセニア」の花が咲きました

阪神電気鉄道株式会社(本社：大阪市 社長：秦雅夫)のグループ会社である六甲山観光株式会社(本社：神戸市 社長：宮西幸治)が、六甲山上で運営を行っている「六甲高山植物園」では、食虫植物の一種である「サラセニア」が奇妙な濃紅色の花を開花させました。

六甲高山植物園は昨年、「湿地性の植物とともに、せせらぎ、湿地などの風景も楽しんでいただける空間づくり」というコンセプトのもと、湿生植物区のリニューアル工事を行いました。その一環として、より幅広い世代に楽しんでいただけるよう、同エリアにて食虫植物の植栽を行っています。



サラセニア(花)

◆サラセニア科

サラセニア科は、北アメリカ南東部に生育する多年草です。ウツボカズラの捕虫囊(ほちゅうのう)に形状が似た囊状の葉をもつ食虫植物で、昆虫やその他の小動物をおびき寄せ、捕らえ、消化し、養分を吸収します。捕虫囊は鮮やかな色と複雑な模様を持ち、開口部の縁からは蜜を分泌して昆虫をおびき寄せます。昆虫は、いったん捕虫囊の中に入ると、内部の鋭い下向きの毛によって、はい上がることができず、最終的には胃酸に似た分泌物によって消化され死んでしまいます。当園の湿生植物区にはサラセニア・フラバをはじめとする5種類のサラセニアを植栽しており、それぞれの種が6月下旬まで随時開花していきます。



サラセニア・フラバ(葉)

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL: 078-891-1247 / 〒657-0101神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【入園料】大人(中学生～64歳)620円 / 小人(4歳～小学生)310円 / シニア(65歳以上)520円

【開園期間】3月18日(土)～11月23日(木・祝) 【休園日】9月7日(木)

【開園時間】10:00～17:00(16:30受付終了)